

QSK つむぎ通信

2014・NO.108

後援会特集

ご案内

第32回つむぎの里定期総会 第13回つむぎの里後援会総会

新緑の候、つむぎの里の事業利用者さま、後援会会員におかれましては、ますます、ご盛栄のこととお慶び申し上げます。日頃よりのご支援に厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年度の定期総会を下記の通り開催いたします。

恒例により、つむぎの里事業の日頃の活動写真の上映を見ながらのご報告等と後援会総会を同時に開催いたします。

法人設立より13年目に入ります。この節目を利用者ご家族、支援会員のみなさまと確認したく、下記のとおりご案内申し上げます。

	記
	日時：平成26年5月25日（日） 午前10：00開会（受付9：30～） 場所：つむぎの里多目的室 議案： 1部 つむぎの里事業決算報告ほか（議決権は理事・評議員のみ） 2部 つむぎの里後援会総会 ① 25年度事業報告および25年度決算報告の承認 ② 新役員の選任と紹介 ③ 26年度事業計画案および26年度予算案の承認

QSKつむぎ通信は、つむぎの里後援会の広報誌として発行しています。

今号は、つむぎの里後援会について特集しました。

「つくる会」から「つむぎの里後援会」へのあゆみ



つむぎの里が社会福祉法人になるまでは、「直方に」小規模通園施設をつくる会」として、家族と支援者と有志の市民のみなさんに「会費」を、利用者の方には会費と「利用費」を出資していただき、職員を雇用し、通園事業をささえていただきました。32年前は、そうしなければ、障害を抱える市民が、通所し社会参加することが、まだまだむずかしい時代でした。有志による、とても誠実な「無認可」の任意団体でした。

無認可の任意団体が、コツコツと資金を積立て、平成14年に社会福祉法人を設立しました。運営の主体は理事会となり、現在は「つむぎの里後援会」として役割のかたちを変えました。社会福祉法人となり、通園事業は少しずつ安定し、公費で運営ができるようになりました。つむぎの里後援会は、初代の吉田会長から末岡会長に引き継がれ、現在津田会長の元、やっと役員体制が安定し後援会独自の活動が展開されるようになりました。

つむぎの里後援会の役割



つむぎの里後援会会則抜粋

第1条 本会は、社会福祉法人鶴林福祉会つむぎの里の事業を支援することを目的として組織する。

第4条 本会は、参加を希望する正会員および賛助会員により構成する。

（1）正会員 この会の目的に賛同し、入会した者。

（2）賛助会員 この会の目的、事業を賛助する者。

第9条 本会において次の事業を行う。

（ア）財政活動に関する事

（イ）広報活動に関する事

（ウ）学習活動に関する事

（エ）その他必要な事項

第10条 本会事業は、会費およびその他の収入により運営する。



第9条における事業では、

（ア）ふくしまつりのバザーや会員拡大によって財政活動を行い、法人へ資金支援します。

（イ）QSKつむぎ通信は、後援会の広報活動としています。

（ウ）つむぎの里の芯…核心は、「支えあい」と「学びあい」…つむぎの里の利用者以外の方のたくさんの参加を受け入れ、交流や学習活動を行っています。

（エ）後援会から、生活介護事業のきららグループに草取りや溝そうじなど環境整備のしごとを委託していただいています。

発足から30年以上、かわらず見守り支援してくださる会員さんが本当に多数いらっしゃいます。また、法人の運営方針に賛同して新たに会員になってくださった方も毎年いらっしゃいます。法人としては、つむぎの里後援会会員のみなさまのご支援をありがたく感謝すると同時に、社会福祉法人が担う地域福祉の役割をはたす所存です。

（つむぎの里管理者 瀬尾）

東北応援市へ参加しました。

ユメニティ直方で開催された、東北の作業所（きょうされん加盟）の商品を販売する「東北応援市」に照岡さん、添田さんと参加しました。福島や岩手の作業所の商品の包装用に、私たちのメッセージや南相馬ファクトリーのメッセージちらしを小袋にしました。

会場全体が、東北からのメッセージと東北支援のバザーなので、来場者の関心も高く私たちからも昨年の南相馬への訪問の様子を伝えたり、東北支援に入った団体や個人からの体験などもやり取りし、せめて東北へ少しでも応援の気持ちを届ける活動を続けられたらと思ったことでした。



（瀬尾）

社会福祉法人鶴林福祉会 つむぎの里 平成26年度 事業計画



2014年1月20日「障害者の権利に関する条約」の批准が成立し、日本が条約の締約国となりました。「障害があっても、必要なサービスシステムがあれば、住みたい場所で、その人らしい生活を、障害がない人と同じように実現できる。」このノーマライゼーションの社会の実現が、わたしたちがかかげてきた根っこにある願いです。権利条約は、まさにわたしたちの願ってきた障害者市民支援の社会モデルです。今後、さらに国内の法整備がすすんでいくよう

に見守っていきます。国内では、平成25年4月1日から、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」（障害者総合支援法）が実施され、障害者の定義に難病等を追加され、平成26年4月1日から、重度訪問介護の対象者の拡大、ケアホームのグループホームへの一元化などが実施されます。グループホームの一元化は、まだ全容は明らかになっていません。前向きな「改正」には、ほど遠い印象ですが、今後も社会的な障壁を抱える当事者にとって、「より住みやすい暮らしの場」への運用ができるように、見守っていく必要があります。

平成25年5月には、念願の法人本部事務所および事業施設が完成しました。設立当時から比べると、格段に活動しやすくなりました。今後はさらに、障害者市民の権利をしっかりと学びながら、当事者とともに、社会や利用者の求めに応える力を備えることが、実践や運営に求められています。そのために今年度も定期的な内部および外部の研修を計画します。法人としては、社会・経済状況及び福祉制度改正の動向等を十分に見極め、中長期的視点に立って法人経営を推進していきます。次の時代における社会福祉経営に対応できる法人本部の機能を強化するために、人材の確保を図ります。

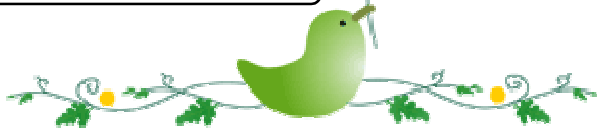
住むことの選択肢のひとつとして、身体障害、高齢者、体験入所に対応するグループホーム建設の補助申請について引き続き準備していきます。資金作りのために、映画上映会を企画します。

また、サービス利用計画の作成をもとに、地域のネットワーク形成が、推進されています。施設としても、防災の拠点となる役割、また支えあう関係づくりを常に意識していく必要があります。

関係団体と連携しつつ、障害者問題に関する運動を展開しながら、障害が不利にならず、表出する障害が個性として、よりゆたかに暮らすことができる社会の実現を、地域の中でめざします。（瀬尾）

夢ポケット

生活介護事業



平成26年度が始まりました。夢ポケットでは新メンバー1人、新職員2人が加わり、「もっと明るく、もっと楽しく」をモットーに販売や作業を頑張っていきたいと思います。

この4月より、商品をリニューアルしました。価格とサイズをお手軽に、よりお求めやすく、パッケージは可愛らしく生まれ変わりました。リニューアル商品は「アグリー福智の郷」、「新Newグアグア市場」、「ASO直方店」、「ASO飯塚潤野店」、「福智山ろく花公園」にて好評発売中です。(岡松)



サンフラワー

～生活介護事業～おやつ作り～いちごのムースケーキ～

春のぽかぽか陽気が気持ちよくなりました。

サンフラワーでは、桜やチューリップを見に行ったり、お散歩に出掛けたりとアクティブな活動をしています。だけどこの日は、花より団子。みんなでおいしいおやつを作って、食欲の春も満喫です。

今回のおやつは、『いちごのムースケーキ』。いちごをたくさんつぶして、生クリームを泡立てて、ヨーグルトを混ぜて、冷やして完成！程よい甘さで、とってもおいしくできました。食欲の夏も楽しみですね。(川邊)



居宅介護・地域支援事業

利用者様の日常生活のお手伝いをする身体介護と通院介護、余暇の充実をお手伝いするガイドヘルプ（移動介護、行動援護、同行援護）、緊急の日中一時支援を提供しています。

出来る限りご要望にお答えできるように頑張っています。

ガイドヘルプでは、楽しいガイドが提供できるように、スタッフはタウン誌や公共施設のサービスや情報の収集に努め企画を提案しています。またご家族からのコースの提案も参考にさせて頂いています。平成26年度もお一人おひとりのペースに合わせた、ゆっくりと静かな企画もありませながら、アクティブに身軽に（?!）頑張ります。よろしくお願い致します。（前田）

なのはな荘・クローバーハウス シャンリバー

～共同生活援助事業～（グループホーム）

クローバーハウスのTさん、2年間の就労移行支援サービスを経て一般企業に就職しました。2月21日よりネクタイを締めJRで出勤しています。さっそうと出勤するTさんをとっても頼もしく思います。（浅野）



きらら

～生活介護事業～

きららグループの平均年齢をぐーんと下げてくれていた戸川さんが夢ポケットに異動し、残る後期高齢者（?）の3人は自分自身の健康管理に注意を払いながら、つむぎの里の美化および営繕など今年度も頑張ります。ご声援をよろしくお願い致します。（大村）

気持ちは
若いよ！



あそびむし

～児童デイサービス事業～

新しいお友達を迎え入れいよいよ新年度がスタートしました。春休みは初めて八幡西区の香月中央公園に遊びに行き、桜が満開の時期は近くの須賀神社にお散歩に出かけました。

香月中央公園はアスレチック施設があり、「またぐ」「くぐる」「よじのぼる」など家庭やつむぎでは体験できないダイナミックな動きができるので、とても楽しいひと時を過ごすことができました。初めての場所に興奮気味の子供達もいましたが、日頃と違う姿を見ることができ、初めての公園とお散歩は充実したものになりました。

年度初めは入学、進級など変化の大きい季節です。あわただしい毎日の中にも子供たちのにぎやかな声が響くつむぎの里です。

今年度も安心して楽しい活動ができるように子供達と一緒に企画しながらやっていきます。

（児童デイ管理者 山下）



つむぎの里職員体制



生活介護スタッフ



会長 山下敏夫



管理者 瀬尾久美子



事務 松隈尚美



サービス管理責任者
宇都宮恵子



支援員 岡松輝彦



支援員 川邊鮎美



支援員 柴田翔



支援員 伊藤彩



支援員 大村正幸



支援員 水上和子



支援員 水間亜由美



給食・支援員 池田まゆみ



作業支援員 田代由美



看護師 花元みゆき



看護師 常友ちどり



支援員 笹栗佳代

障害サービススタッフ



管理者・児童発達支援管理責任者
山下めぐみ



保育士 稲田政子



保育士 松林恭子



保育士 笹栗佳代



保育士 富永まゆみ



保育士 清水志保

講師



臨床心理士 鎌田容子

グループホーム・ケアホームスタッフ



管理者・サービス管理責任
浅野ゆかり



世話人 小川妙子



世話人 小石厚子



世話人 寺河都子



生活支援員 吉武幸子

居宅介護スタッフ



サービス提供責任者
前田昌美



居宅介護員 柴田翔



介護福祉士 吉武幸子



介護福祉士 高辻光代



居宅介護員 宮原邦子



居宅介護員 牛久保幸子



居宅介護員 水間亜由美



運転手 野見山正三

スタッフ紹介

よろしく
お願いします



サンフラワー職員
伊藤 彩



グループホーム職員
小川 妙子



夢ポケット製菓担当
田代 由美

事務局だより

ご寄付・ご寄贈ありがとうございました。
水上和子様 山口慎輔様 青山かよ子様
つむぎの里後援会様 花公園様 (花鉢)



(平成26年4月22日現在) (順不同)

後援会だより



料理教室に参加して

2月13日(木)に、後援会の津田会長が講師をして下さり、料理教室が行われました。12名の参加者は3班に分かれて、「車麩のカツレツバーガー、小豆かぼちゃ、青菜の梅のり和え、プリン」の4品を作りました。

『車麩』という普段はなかなか使わない食材がボリュームがあってヘルシーなカツレツバーガーに変身したのは、とても驚きでした。

その他の料理もその素材の良さを生かした優しい味に仕上がりました。

作るときは、どんな完成になるかとワクワクしながら、食事をする時はワイワイとおいしくとても楽しいひとときを過ごしました。ありがとうございました。



後援会 会計監査 福原 章子

ご入会ありがとうございました

25年度入会者

正会員 香月孝治様

賛助会員 山喜多朋子様 青山かよ子様

26年度入会者

正会員 古荘方啓様

賛助会員 西尾保子様 亀谷誠一郎様 桂美恵子様 古荘拓子様

カンパ 有馬さとみ様

(平成26年4月22日現在) (順不同)



引き続き26年度後援会の継続、入会をお願いします。

編集 社会福祉法人 鶴林福祉会 つむぎの里

〒822-0006 福岡県直方市上境1467 《TEL 0949-28-2367 FAX 0949-28-2301》

年正会員費 6000円 年賛助会員費 3000円 (いずれも年間購読料を含む) 定価1000円

発行 九州障害者定期刊行物協会

〒812-0054 福岡市東区馬出2丁目2-18 《TEL 092-292-4311/FAX 092-292-4312》